

# 令和7年度 自己評価書

学校名	和歌山市立西脇小学校
校長氏名	川崎 ゆき
作成日	令和8年2月16日

## 1 教育目標

心身ともに健康で、自主的に物事を考え、自他の人格を尊重し、互いに協力して実践していく子供を育てる。

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査で、正答数が県平均に近づく。</li> <li>子供が毎日の勉強がわかると感じる。(80%)</li> <li>教師一人一研究授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が楽しいと感じる。(90%)</li> <li>命の大切さを教えてもらっている。(100%)</li> <li>いじめの解消率(100%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝ごはんを食べる。(100%)</li> <li>体力テストの結果が全国平均と同等となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の様子がよく伝わる。(保護者90%)</li> <li>地域人材を活用して地域に開かれた授業作りを行う。</li> <li>幼稚園、中学校区で接続・連携した取組を実践する。</li> </ul>
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎読み・書き・計算等の基礎学力の定着</li> <li>◎自分の考えを書く・話す・話し合う力の育成</li> <li>○家庭と連携し、家庭学習の充実・習慣化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自他ともに尊重し合える心の育成</li> <li>◎いじめの未然防止、早期発見、早期解決</li> <li>○地域の方々との関りや異学年交流を生かした感謝・思いやりの心の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎健康の保持増進と体力向上の推進</li> <li>◎基本的生活習慣の確立</li> <li>◎危機回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校・家庭・地域との連携、協力</li> <li>◎地域人材を活用した地域に開かれた学校づくり</li> <li>○学校運営協議会委員との連携を深め、よりよい学校運営に努める。</li> </ul>
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の会でスピーチを行い、自然に自分の考えを話せるようにした。</li> <li>日記に取り組ませ、自然と自分の考えを書けるようにした。</li> <li>西脇タイムで、国語・算数の習熟練習を行った。</li> <li>宿題に取り組ませた。</li> <li>教員が研究授業を行い、子供の「わからない」を大切に授業力向上をめざした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との交流や、磯ノ浦クリーン作戦等の体験活動を通して、感謝の心、思いやりの心、ボランティア精神等を育てることができた。</li> <li>9月を人権学習参観とし、学年の発達段階や実情に応じた取組を保護者に見てもらい、一緒に考えることができた。</li> <li>いじめアンケートや心の健康観察を実施し、いじめの早期発見、早期解決に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域学習や奉仕作業を通して、健全な心や体力の向上を図った。</li> <li>保健だよりを通して、「早寝、早起き、朝ごはん」や、基本的な生活習慣を身につけられるように指導し、家庭における健康観察を啓発した。</li> <li>体育の授業でいろいろな運動の楽しさを味わうことにより、体力向上を図った。</li> <li>避難訓練や、交通安全教室、喫煙防止・薬物乱用防止教室、情報モラル教室を行い、危機回避能力を育成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりには、できるだけ子供たちの活躍を載せ、情報発信に努めた。</li> <li>授業のゲストティーチャーなどで地域の先達との交流が広がり、地域教材を積極的に活用できた。</li> <li>西脇人権ブロックで交流し、幼小中の発達段階の中でどのような取組をすればいいのかを考えることができた。</li> <li>1年生と西脇幼稚園、西脇保育所との交流を実施し、円滑な接続を図った。</li> </ul>
取組の成果と課題【C】(評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県学習到達度調査で、4年生は、県平均と比較して、国語が+1.8ポイント、算数が+3.5ポイントで上回った。5年生は、国語が-7.4ポイント、算数が-2.7ポイントで、算数は県平均に近づいてきた。「うどく」や、給食を食べ終わった子供から「屋の読書」に取り組んだ。読書貯金カードを持たせ、20冊ごと、2000ページごとに表彰し、読書活動を推進した。</li> <li>読書などで培われる文章のあらすじをつかむ力、宿題による反復練習が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活科や社会科の授業でも、地域や店に見学に出かけ、様々な方と出会い、特色や人々の願いを知る授業を行えたことは、心の面でも成果があった。</li> <li>週に1度の道徳の授業をきっちりと行い、心の教育を行った。実生活でも道徳で学んだことを実践できるときに、ほめてあげられるよう、子供の様子をよく見取っていききたい。</li> <li>読書活動を推進し、豊かな心の育成に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に2年生に対して、栄養教諭による食育授業を行い、朝ご飯の重要性や食の喜び・楽しさを理解させることができた。</li> <li>全校児童で避難訓練を行い、特に4年生は防災学習と関係づけることによって成果が高まった。</li> <li>体力テストの結果は、全国平均を上回る種目が多い。長座体前屈や立ち幅跳び、女子はソフトボール投げに課題が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種便りやHP等を通して、積極的に学校の情報や授業・行事等を発信した。</li> <li>学校運営協議会を各学期に開催し、子供たちの学習発表や一年間のまとめとなる授業を親で頂けて良かった。</li> <li>幼稚園とは合同運動会や、低学年を中心に遊びや学習を通して交流する機会を持てたことはよかった。しかし中学校との連携が広がらないことが課題である。</li> <li>地域ボランティアの方々には、家庭科のミニ学習をサポートしていただきありがたかった。</li> </ul>
改善方法【A】(次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果、毎日の勉強がわかると答えた低学年は72.3%、中・高学年は88.6%であった。学習内容がわかり、基礎的な学力が身についていると回答した保護者は81.1%であった。</li> <li>教員は、子供の「わからない」を見取り、それに寄り添って学び合えるような授業をめざしていく。</li> <li>家庭との連携を推し進め、学習に向かう環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果、学校が楽しいと答えた低学年は96.0%、中・高学年は96.2%であった。命の大切さや社会のきまりについて教えてもらっていると答えた中・高学年は97.5%であった。</li> <li>西脇小学校区は地域人材、地域教材にあふれているので、これからも地域と積極的に関わっていく。</li> <li>次年度も、いじめアンケートの実施、道徳教育の充実、日々の授業や行事を通して、望ましい人間関係を築いていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上を更に図っていく。</li> <li>早寝・早起き・朝ごはんを更に推進する。</li> <li>自分用のスマホやタブレットを持っている子供が多くなり、使用時間が長くなってきている。家庭で決めた使用時間を守ることができるように促していきたい。</li> <li>SNSトラブルに巻き込まれないように子供・保護者の双方に啓発していきたい。</li> <li>避難訓練や各防犯教室を計画的に行い、引き続き危機回避能力の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果、学校の教育活動や子供の様子を保護者に分かりやすく伝えていると回答した保護者は、87.9%であった。</li> <li>これからも、HP、学校だより、学年・学級だより等で学校の情報を発信し、開かれた学校を目指す。</li> <li>今年度同様、地域先達との交流ができる授業や活動を取り入れる。</li> <li>生活科・社会科・総合的な学習の時間を通して地域教材に目を向け、子供たちが主体的に取り組むことができるようにする。</li> </ul>

## 3 その他の課題

・地域の方の土地を畑としてお借りし、広い畑で作物づくりができてとてもありがたい。特別支援学級や低学年は野菜作りを通してものづくりの大変さや大切さ、楽しさを学ぶことができた。来年度も引き続き取り組んでいきたいが、敷地が広いため耕すのが大変なこと、耕作していない所の雑草対策(防草シート)に費用がかかることが課題である。